

マーケットの動き (2019年12月9日～12月13日)

先週の国内株式市場は、木曜日までは小幅な値動きで推移しましたが、米中通商協議や英国総選挙の報道を受けて、週末に大幅高となりました。

業種別では、非鉄金属、鉱業、保険業、石油・石炭製品、機械が騰落率上位に挙がりました。

また規模別では大型株が優位に、スタイル別ではバリュー株が優位となっています。

投資環境見通し (2019年12月)

上昇ペースは緩やかとなるも底堅い展開を予想

- これまで堅調に推移してきた国内株式相場は、上昇ペースが緩やかとなるも、今後も底堅い動きになるとみています。
- 今後の国内株式相場は、米中貿易協議の動向次第で変動率が高まる可能性もあります。が、緩和的な金融政策に支えられ、底堅く推移すると予想しています。

| | 12月13日 | 騰落率 | | | |
|----------------|-----------|-------|-------|--------|--------|
| | | 前週比 | 1カ月前比 | 6カ月前比 | 1年前比 |
| TOPIX (東証株価指数) | 1,739.98 | 1.55% | 2.33% | 12.88% | 7.63% |
| 日経平均株価 | 24,023.10 | 2.86% | 3.02% | 14.22% | 10.12% |

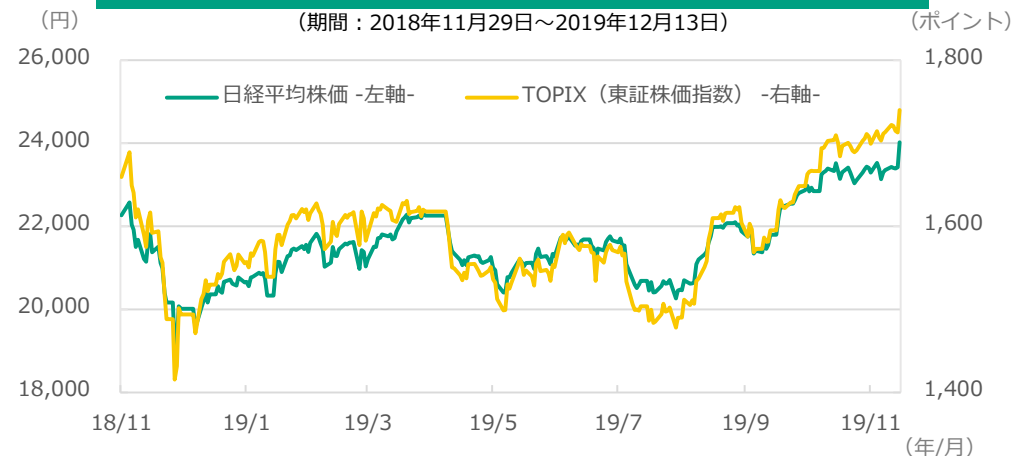
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

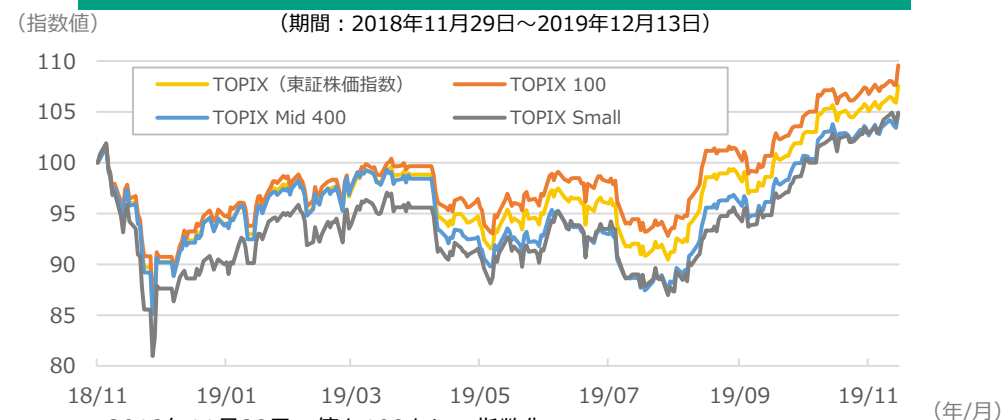
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/201912_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなされるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し(総合)の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



TOPIX規模別指数の推移



※2018年11月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成